

いま、ここから、あるきだす。

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会
代表 伊藤正俊・中垣内正和
〒170-0002 東京都豊島区東鴨 3-16-12-301 Tel: 03-5944-5250 Fax: 03-5944-5290

http://www.khj-h.com

facebook:http://www.facebook.com/khj_ho twitter:http://twitter.com/hikikomori_khj

旅立ち KHJ NEWS

HIKIKOMORI

- 1面 ▼ 長期高齢化 40代以上の実態把握
- 2面 ▼ 独占インタビュー・川北氏と境氏
- 3面 ▼ 親の高齢化・各地の取組み
- 4面 ▼ 全国 KHJ 支部案内・CRAFT・川柳

長期高齢化40代以上の実態把握へ

「長期高齢化したひきこもり者とその家族への効果的な支援及び長期高齢化に至るプロセス調査・研究事業」報告書

ひきこもりの長期高齢化について、当会はその不安を訴えてきました。地域とのつながりを持たず孤立した家族は、高齢化になるに従い深刻な困窮に陥る可能性があります。

病気、介護、経済的な困窮など、日常生活が追いつめられるまで表面化せず、困つて合っている家族会だからこの使命です。

内閣府調査では空白と

共同代表 伊藤 正俊
中垣内正和

困窮者窓口 40代の相談が6割超え ～息の長い支援体制が重要に～

全国約1300か所の自立相談支援事業の窓口のうち、215か所を抽出し151窓口から回答を得た。そのうち、86.1%でひきこもり事例に関する相談を受けている。年代別では40代に対応した経験のある窓口が最も多く、全体の6割以上上った(62.3%)。窓口が連携した関係機関として、「ハローワークなど就労関係窓口」(49.0%)、「福祉事務所(生活保護担当部署)」(46.4%)、「行政の障害センター・精神保健福祉センター」(36.4%)が多く挙げられた。その他、高齢者関係の機関・施設など、多岐にわたる窓口や機関との連携が行われている。

その他、「民生委員・児童委員」「社会福祉協議会」「高齢者・介護関係の機関・施設(地域包括支援センターを含む)」など、連携は多岐にわたる。これは、ひきこもりの相談が複合的なニーズに応える必要性を示している。

なお、ひきこもりの第一次窓口位置づけられている「ひきこもり地域支援センター」との連携割合は6.6%にとどまった。支援の結果、生



じた変化としては「就労の開始」(40.4%)、「自立意欲の向上・改善」(39.7%)が挙げられた。支援のうえで困難は、本人と会うこと、コミュニケーションの難しさ、問題解決に対する動機付けが高くないことが挙げられた。

「利用可能な制度や資源が少ない」という声も少なくなく、今後必要な支援としては「居場所」(56.3%)や「家族会・家族教室」(33.1%)などが挙げられている。

ひきこもりは、その期間や年齢が上がるほど、支援への困難や無力感を感じ解決が難しくなる傾向にある。本人や家族のエネルギーの回復も含め個々の実情に合った息の長い支援体制が重要である。しかし、居場所の設置などは必須事業や任意事業に含まれていないのが現状だ。そういった中で効果的な支援を実施していると思われる窓口については聞き取り調査を行っている(北海道、滋賀、大阪、兵庫、北九州)。詳細は報告書に掲載した。

家族会調査 就労のつまずきから長期化する傾向

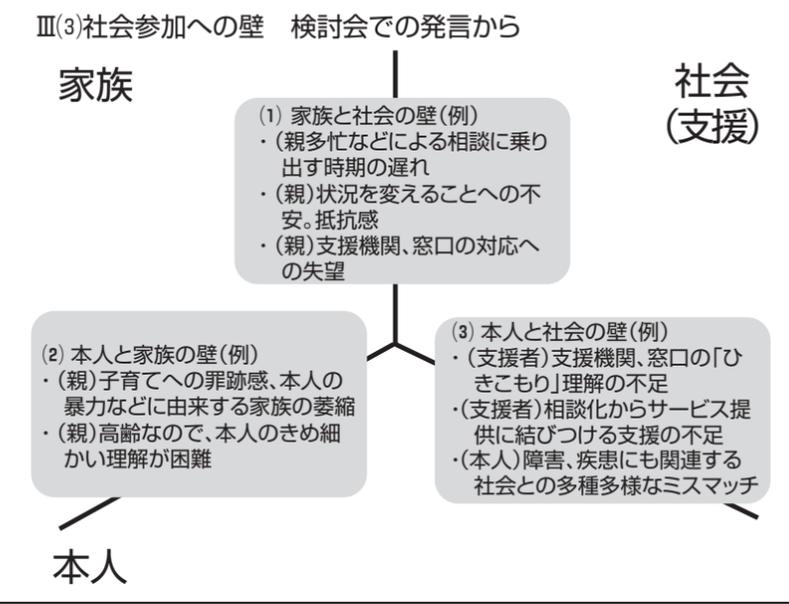
家族会からは、長期高齢化の傾向にある61事例を提供いただき聞き取り調査を行った。

ひきこもり状態になった年齢の平均は22.9歳。現在の年齢は40代前半が最も多く、家族を含めて、開始から約20年にわたってひきこもりの課題に取り組み続けていることがわかった。現在では社会参加している

社会参加を阻む障壁

「家族が開く」社会的孤立を生まない取り組みを

ひきこもり状態の解消も課題であるが、たとえひきこもりが継続していても、過度の社会的孤立が生じないような取り組みが必要であり、その妨げになるような「壁」を3通りに分けて集約した(図)。



れる。(その他、家族会調査で得られた典型的なひきこもりモデル事例は報告書に掲載した)。

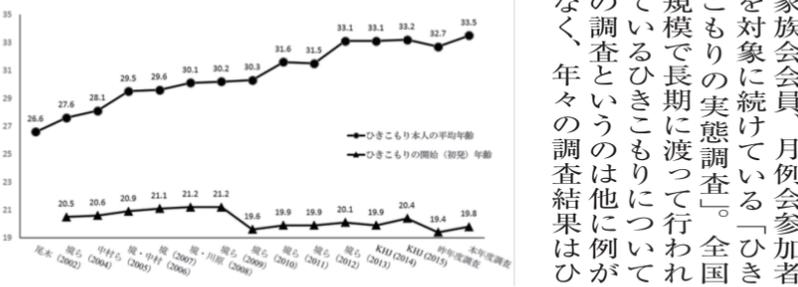
多くの家族は病院(65.6%)をはじめ何らかの窓口で相談した経験がある。しかし支援の途絶のエピソードも26事例(44.8%)で確認された。ようやく相談の場に結びついた家族や本人が、途絶することなく支援を受けられるような体制づくりや、途絶した後でも継続的に見守るような体制が重要である。

広い生活問題をきっかけにして、幅広い接点から家族内部の課題を表面化させ(家族を開く)、社会との接点を作ること望まれる。

40歳以上の事例が全体の25%に及ぶ

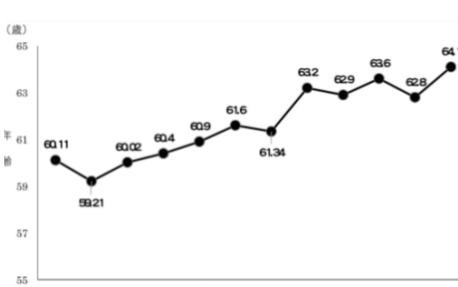
ひきこもり実態に関するアンケート調査報告から

2004年から、全国の家族会会員、月例会参加者を対象に続けている「ひきこもりの実態調査」。全国規模で長期に渡って行われているひきこもりについての調査というの他に例がなく、年々の調査結果はひ



家族の平均年齢の推移

家族の平均年齢の推移を見ると、2017年の平均年齢は64.1歳で、2016年と比べ上昇しており、これまでの調査で最高年齢となった。家族の平均年齢も、本人のそれと同様、上昇を続けている。現時点で定年



不登校・ひきこもりの方も安心

第一学院高校は、「自宅通信学習」で高校卒業できる学校です。

- ▶ iPad® miniを使って学習(無償貸与)。
- ▶ 自宅学習と年1回のスクーリングで高校卒業。
- ▶ メンタル面・進路面のサポートも充実。

※iPadは米Apple Inc.の登録商標です。

生徒第一...だから 通信制高校(広域通信・単位制)

第一学院高等学校

TEL 0120-761-080 www.daiichigakuin.ed.jp

全国50キャンパス(平成27年4月時点)

不登校・ひきこもりの方も安心

「自宅通信学習」で、高校卒業資格取得!

生徒第一...だから 通信制

第一学院高認予備校

TEL 0120-936-358 www.daiichigakuin-kounin.jp

(2)面(続)